パブリック・コメント手続の回答について

「本庁舎の建替えについて」のパブリック・コメント手続については、令和 4（2022）年 1 月 14 日から同年 2 月 14 日まで募集し、21 人から 77 件のご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は次のとおりです。

No.	いただいたご意見の要旨	市の考え方
【まちづくりについて】		
1	移転をするのであれば、川南地区の活性化を考えてから移転してください。	現本庁舎周辺と駅周辺の一体的な機能分担と有機的連携によるまちづくりを進め、歩けるまちづくり、人の動きによるにぎわいづくりが必要であると考えています。 本庁舎の建替えについても、まちづくりの一部として捉えています。 川南地区の活性化は、中心市街地の課題として認識しており、地域の皆様のご意見を聴きながら進めていきます。
2	川南地区のまちづくりのためには、市役所の現在位置での建替えが必須です。	
3	川南地区は、昔からの街並みができているものを活かせる街にしてほしい。市役所、交番、老舗の店、はなやぎ通り、商店街が駅へ続き、人が歩いて移動できる生活圏があってこそ観光の目的になると思う。	
4	まちづくりを考えれば、移転は間違っていると思う。	
5	新しく箱物をつくるのではなく、多様性のある、住みやすい街にしてほしい。	
6	駅付近には商業施設等を誘致して税収を上げてはどうか。 本庁舎周辺事業者への十分な説明、配慮、減収への援助など対策はあるのか。	多治見駅南については、市街地再開発事業が進行中です。駅南北の役割分担と連携により、さらに現本庁舎周辺と駅周辺の一体的な機能分担と有機的連携によるまちづくりを進め、市全域の魅力を向上させる必要があると考えています。 現本庁舎敷地の利活用については、地域の活性化、まちづくりの観点から地域の皆様のご意見を聴きながら検討を進めていきます。
7	駅北地区は、市内で一番地価が高い場所	

	です。税金を納めない行政の庁舎をつくることはふさわしくない。	
8	郊外に本庁舎を建設し、市役所を中心とした利便性のある場所としたらどうか。駅周辺は、マンション棟の建設を行い、減少傾向にある住民を増やしてはどうか。	
9	隣接する駐車場もないのは無計画。市全体としてのまちづくりという視点がないのではないですか。	都市計画マスタープランや立地適正化計画、中心市街地活性化基本計画などのまちづくりの方針を踏まえて検討を進めています。
10	「こういった街にしていきたい」という未来が見えません。多治見のまちをこうしたい、という議論を今一度してみてはいかがかと思います。	新庁舎検討市民委員会においても、現本庁舎周辺と駅周辺の一体的な機能分担と有機的連携によるまちづくりを進めるとのご議論をいただいているところです。
11	多治見市には5つの商店街がありますが、現在は衰退してきています。市役所、商工会議所、まちづくり㈱の力を借りて復活できればと願います。	中心市街地の活性化は、課題として認識しています。地域の皆様のご意見をお聴きしながら、まちづくりに取り組んでいきます。
12	駅北地区はコインパーキングが多い。買い物ができるような店があると魅力的な地区へ変わっていくのではないか。	駅北地区は、土地の高度利用を行う地域としており、にぎわいづくりに繋がるよう努めていきます。
13	川南地区は、道路はでこぼこで整備されていない。川北と比べ不公平感がある。川南地区をもっと開発してほしい。オリベストリートなどもっと整備してほしい。	市全域について、優先順位を付けて順次取り組んでいます。

14	北も南も均等に発展させてほしい。	
【現本庁舎敷地利活用等について】		
1	新庁舎を建てるなら、現本庁舎をどうするか方向性を打ち出してほしい。	現本庁舎の敷地の利活用については。地域の皆様のご意見を聴きながら進めていきます。
2	川南は、夜は暗く物騒です。本庁舎を移転するのであれば、夜が明るい娯楽街にしてください。	
【建替えについて】		
1	なぜ建替えが必要なのか。	現本庁舎は、築 48 年を経過し、今後、長期にわたり市役所に求められる機能を果たしていくことは困難です。 また、耐震性能が低いこと、空調設備や給排水設備の老朽化といった問題が発生しています。このため、大地震等の際、業務継続が不可能となるおそれがあります。
2	立派な本庁舎が現存しているので、移転する必要はないと考えます。	
3	建替えには賛成。本庁舎をリフォームしたとしても、年数がたてば限界がくる。	
4	何故、当初から本庁舎を壊して建て直さなかったのか。耐震工事を実施したうえ、壊してしまう理由は。	耐震補強については、当面の安全確保策として最低限の措置を行ったものです。一般の建物に必要とされる水準に留まり、災害時に拠点となる建物に必要な水準を満たしていません。また、建物の倒壊は免れても、空調設備や給排水設備といった設備が劣化しているため、業務の継続が不可能となるおそれがあります。 このため、10 年を目途に建替えを行うこととし検討を進めてきました。
5	耐震補強をしているので喫緊の課題ではなく、優先順位は高くない。	
6	駅北庁舎や本庁舎の耐震工事について、建築上の欠陥があるのですか。	
7	本庁舎の耐震能力は 0.60 以上、東南海地震で想定される震度 6 強の揺れでも倒壊しません。	現本庁舎の耐震性能（I s 値 0.63）は、一般の建物に必要とされる水準（0.60）相当です。災害時に拠点となる建物については、1.5 倍の耐震性能が必要とされており、Is 値では 0.90 に相当します。 また、建物の倒壊は免れても、空調設備や給排水設備といった設備が劣化しているため、業務の継続が不可能となる恐れがあります。
8	何故、I s 値 0.90 以上が必要なのか。	
9	何故、市庁舎は早い時期に空調を整備し	平成 23 年に庁舎建替えの方針を決定した後、経費を抑えるため、最低限の修繕、補修

	なかったのか。また、名古屋市役所は古いですが機能しています。	に留めてきました。 名古屋市役所は国の重要文化財に指定されており、簡単に比較はできません。
10	設備の老朽化や耐震性の問題から、建替えの必要については理解できました。	建替えの必要性については、市民の皆様のご理解を得られるよう、引き続き丁寧な説明に努めて参ります。
【防災対応について】		
1	駅北地区は、地盤がやわらかいと聞きます。川南地区の方が地盤はしっかりしているのではないですか。	地震による液状化現象等に対する安全性については、地震防災マップからも駅北と日ノ出町との間に有意な差はありません。 建設にあたっては、必要な調査を行い、安全性を確保する措置をとっていきます。
2	駅北地区は、土地の安全性、利便性どちらも良くなく、地質調査等が必要です。	
3	利便性を考えて、駅北庁舎隣接地に建替えるのが最も望ましいと思います。しかし、十分な排水設備が必要です。	浸水ハザードマップから駅北地区と現在地との間に有意な差はありません。 駅北庁舎隣接地に建替える場合は、止水板、雨水排水ポンプなどの対策を実施するほか、非常用電源、機械室、災害対策本部室など、浸水から保護すべき設備及び機能は上層階に配置します。
4	市役所は、被災地の現状をみても災害の拠点であり、復興の拠点であると思います。ハザードマップでは市民病院、駅北庁舎ともに浸水域と表示されており、浸水時に、その役割を果たせません。	
5	駅北地区は水害時に水につかる可能性がある。	
6	駅北地区は低地であり浸水します。周辺の道路も水没し、職員の参集、派遣も困難となります。近年、降雨量は増える傾向にあります。	
7	天変地異によるさまざまな災害が待っている中、将来の計画を示して安心して暮	庁舎の建替えは、市民の安全を守る防災対応の拠点としての役割を担うという観点から、優先順位は高いと判断し、検討を進めています。

	らせる多治見市になってほしい。	
【交通問題について】		
1	駅北は、川南から行きにくい。	JR 多治見駅周辺における南北方向の交通事情については、従来から課題として認識しており、音羽小田線の整備を市事業の最優先路線として進めているところです。
2	駅北は、市西部から行きにくい。	国道 248 号線の南北方向の交通事情については、従来から課題として認識しており、岐阜県と協力し、(仮称)平和太平線の整備に向けた取組みを進めています。
3	248 号線の上に高架式の道路を建設し、市庁舎に速やかに入れるようにする必要がある。	駅北庁舎周辺の交通事情については、JR 中央線と交差する国道 248 号線のアンダーパス付近を除き、慢性的に渋滞する状態ではなく、本庁舎の移転による大きな影響はないと考えています。
4	車社会から脱却できない多治見市では、現本庁舎の方が便利です。	高齢化も踏まえ公共交通の利用促進が重要となっています。JR 多治見駅は公共交通の結節点であり、どの地域からもアクセスに優れた場所です。
5	駅北では、交通渋滞により災害や緊急時に速やかに車両や人員を派遣できません。	公用車の駐車場については、来庁者用駐車場とは別に検討を進めていきます。
【駐車場問題について】		
1	駅北立体駐車場は遠く、子ども連れや高齢者は大変です。	ご意見については、課題として受け止め、配慮の必要な方でも利用しやすい方法を検討していきます。
2	駅立体駐車場や、民間駐車場からの移動は負担になります。	
3	小さい子供を連れて立体駐車場から徒歩での移動は大変。現本庁舎は駐車場が多く、庁舎に近いのでよい。	
4	駐車場が不便な場所になるのであれば、駅北庁舎隣接地は反対。また、駐車場の地代は、二重コストです。	駅北庁舎隣接地に移転する場合については、新規に駐車場を整備する案のほか、市有地を活用する、駅北立体駐車場の一部転用など、費用対効果や利便性を考え、様々な方法を検討していきます。
5	駐車場の整備に土地を借り上げる場合、	

	整備費用のほか借地料が必要となり、また維持管理費も必要となります。	
6	駐車場の広さと台数を確保してほしい。費用が抑えられればよい。	
7	駅北地区に移転する場合、駐車場の費用が膨大になります。公共交通機関の利用を勧めるのであれば、市長、議員、職員は公共交通機関での通勤にしてください。	職員等の通勤用の駐車場をあらたに整備する予定はありません。また、職員に対しても公共交通の利用を促していきます。
8	自動車保有世帯が多いことを踏まえ、駅に近いことより、駐車場の確保ができる場所の方がメリットに感じる。	高齢化も踏まえ公共交通の利用促進が重要となっています。JR 多治見駅は公共交通の結節点であり、どの地域からもアクセスしやすい場所です。 駅北庁舎隣接地に移転する場合については、新規に駐車場を整備する案のほか、市有地を活用する、駅北立体駐車場の一部転用など、費用対効果や利便性を考え、様々な方法を検討しています。
	【コストについて】	
1	人口が減少し、財政的に厳しい時代を迎えようとしているときに、立派な庁舎は建てられますか。	庁舎建設費については、主に基金及び市債で賄う予定です。基金については、平成 25 年に設置し、20 億円を目途に積立ててきました。令和２年度末の残高で、20 億 1671 万円となっています。 建設費用等については、コスト削減に努めるとともに、国等の財政支援策を調査研究しながら進めていきます。
2	無理せず予算が確保できるのであれば、建替えは良いと思います。	
3	道路整備を含めて 83 億円。無駄な税金は使ってほしくない。使うなら今の場所に建て直してほしい。	建設費用は 52 億円を見込んでいます。道路整備（(都)音羽小田線や(仮称)平和太平線）については、庁舎建替えに伴うものではありません。
	【優先度について】	
1	コロナに対して、市としての対策を考えることが最優先ではないですか。	現本庁舎は、築 48 年を経過し、今後、長期にわたり市役所に求められる機能を果たしていくことは困難です。また、現本庁舎の耐震性能の低さ、設備の老朽化のみならず、

<table>
<tr><td>2</td><td>建替えは、いつかは必要だと思いますが、コロナの時に必要ですか。コロナが収まってからにしてください。</td><td rowspan="4">防災対応の拠点としての役割を担うという観点から、優先順位が高いと判断しています。
コロナ対策にはワクチン接種のほか、支援を必要としている方への対応など、全庁を挙げて取り組んでいるところです。
また、交通渋滞については、多治見市政における重要な課題と認識しており、優先順位を付けながら進めています。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>教育、福祉、安全・安心なまちづくりの充実に役立ててください。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>交通渋滞、教育、福祉などほかの問題に取り組むべきです。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>市内の渋滞の緩和が急務だと思われる。建替えは時期尚早ではないか。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>コロナ禍の中、52 億円、道路整備を含めて 83 億円。多治見市の財政のことを考えると、当面 2 庁舎体制とし、優先順位の高い渋滞対策、福祉の充実、教育環境などに投資すべき時。</td><td>道路整備（(都)音羽小田線や(仮称)平和太平線）については、庁舎建替えに伴うものではありません。
また、2 庁舎体制に伴うコストの削減への対応も必要です。
本庁舎の建替えについては、平成 23 年に方針を策定し、場所の選定も含め、検討を続けてきたところです。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【決定に至る経緯等について】</td></tr>
<tr><td>1</td><td>職員の意見が優先されているように感じます。</td><td rowspan="2">市民の皆様からの意見募集（パブリック・コメント）や各種団体への説明、市民向け説明会のほか、地区懇談会などでご意見を頂いてきました。また、令和３年２月から、各種団体の代表者や公募市民で構成する新庁舎検討市民委員会を設置し、議論をいただいています。
また、市議会では、本庁舎建設に関する特別委員会が設置され、小委員会を含め活発な議論がされています。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>議論が不十分なまま、駅北に庁舎を建てるのは反対です。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>「本庁舎建替え議論に関するこれまでの経緯について」、「新庁舎検討市民委員会中間報告」はいかにも行政らしい、コンサルの報告書のレベルです。市民不在の不毛な議論に失望します。</td><td>新庁舎検討市民委員会中間報告は、委員の皆様のご議論・ご意見を取りまとめたものです。</td></tr>
</table>

4	子どもたちを含めた全世代の意見を聞いてまとめてはいかがでしょうか。そのためにも、もっと幅の広い議論がされることを切に願います。	幅広い世代からのご意見を頂くことは大事であると認識しています。このため、様々な手法で皆様のご意見を伺う取組みを続けてまいります。
	【その他】	
1	本庁舎前の駐車場は、入りやすく、商店街へ歩いて行ける場所だと思う。	現本庁舎前の駐車場は、特段の事情がある場合を除き、週末、休日は開放し、周辺地域の観光等に利用していただいています。現本庁舎の敷地の利活用については、地域の皆様のご意見を聴きながら進めていきます。
2	各務原の新庁舎は、どのような経緯で建設されたのですか。また、他市町村で新庁舎の建設をしているところはあるのか。	各務原市庁舎の建設に関する経緯や市民の意見については、多治見市としては回答できません。近年では、各務原市以外にも岐阜市、大垣市、羽島市、土岐市等で新庁舎を建設しています。
3	市から詳しい説明をほとんど聞いていない。市長から直接聞きたい。	パブリック・コメントや各種団体への説明、市民向け説明会の開催、広報紙への特集掲載のほか、地区懇談会においては市長が直接説明し、意見交換をさせて頂きました。 令和４年度の地区懇談会でも説明をさせていただく予定です。 市議会議員の意見については、市行政では回答できません。
4	市長、議員個人の意見、賛成、反対、それについての理由を広報で知らせてほしいです。	
5	市議会議員ひとりひとりの意見が知りたい。	
6	地区懇談会は、コロナの対策のため、時間が限られていました。コロナが収まり市民が安全になってから、丁寧な説明をしてほしいです。	
7	令和２年９月に廃案になったにも関わらず、なぜ引き続き議論をしているのですか。	市民への広聴広報が不足している等の理由で廃案となったため、様々な機会を通じて広聴広報に努めてきました。

8	予算を計上しているのは、本庁舎の移転を決めつけているからではないですか。	本庁舎の建替えに係る令和４年度の予算は、新庁舎検討市民委員会の委員報酬と他事例の調査のための経費等のみを計上しています。
9	駅北庁舎建設時には、窓口業務が多い部課のみの移転建設との説明でした。	平成 23 年に、本庁舎の今後のあり方について「市庁舎将来構想」を策定し、次の方針を定め、進めてきたところです。 （1） 本庁舎は、当分の間使用し、その後建替える。当分の間とは、建設費の財源確保の見通しがつき、かつ、一定の市民の合意を得てからとなる。 （2） 笠原庁舎は閉鎖する。 （3） 分庁舎を新たに建設し、庁舎機能の一部を移転する。 駅北庁舎は、この方針に基づき、平成 27 年に建設し、庁舎機能の一部を移転したものです。 本庁舎については、最低限の耐震補強工事等を行い、10 年を目途に建替えを行うことで、検討を進めてきました。
10	なぜ今頃移転するのか理解できない。目的がわからない。	
11	駅北庁舎を建設したときにやるべき。今更移転をするのは無計画である。	駅北庁舎の建設時に全ての機能を移転することは、財政負担の観点からも困難でした。
12	駅周辺だけに目を向けるのではなく、市全体をみてください。車で市街地を走るだけでなく、歩いて商店街をみて調べてください。店に入り聞き取り調査や話し合いをしてください。	多治見駅北・南と現本庁舎周辺を一体として、それぞれの伝統や特色、役割を考え、まちづくりと併せて検討していきます。 コロナ禍における支援など、直接にニーズを把握しながら取り組んでいるところです。
13	近隣他市で市役所が駅周辺にある市はありません。駅周辺が混雑するだけです。	建設地の選定に当たっては、「利便性」、「防災拠点」、「経済性」の評価項目により検討し、総合的に判断しました。 駅北庁舎周辺の交通事情については、JR 中央線と交差する国道 248 号線のアンダーパス付近を除き、慢性的に渋滞する状態ではなく、本庁舎移転後でも大きな影響はないと考えています。
14	モビリティの変化から鉄道駅中心のまちから変化があると思われます。	モビリティの変化は想定される要素の一つです。一方で、公共交通の重要性も増しています。中心市街地における機能の集約や活性化により、まち全体の魅力が向上するもの

	現在の場所での建替えが費用の面でも災害時のリスクマネジメントの観点でも一番良いと思います。	と考えています。 災害時の安全性については、地震防災マップ、浸水ハザードマップからも駅北と日ノ出町との間に有意な差はありません。複数箇所に分散させることによるリスクの低減は期待できないと考えています。
15	庁舎が２箇所に分かれていることで感じる不便がある。庁舎が分かれていること自体をもっと周知してほしい。	ご意見については、分かりやすい広報を行うための参考とさせて頂きます。
16	駅北庁舎への移転は再検討してほしい。虎渓用水広場を圧迫するのではないか。周辺のお店をサポートしてほしい。	駅北地区へ移転する場合は、庁舎の１階を虎渓用水広場と一体的に利用し、圧迫することがないよう配慮していきます。また、市民が集うイベントの開催等、にぎわいづくりを行っていきます。
17	新しくてわくわくするような楽しい計画が目に見えてわかりやすくなると、理解と共感を得られるのではないか。	今後の情報発信の仕方について、参考とさせていただきます。
18	駅周辺は、電車通勤の職員に有利な場所です。多治見駅を利用している職員は何パーセントですか。これらの職員は緊急招集をかけなければならないときに、対応可能ですか。	駅北庁舎では、公共交通機関を利用する職員は 29.1%です。緊急時にあっては、職員は利用できる移動手段を活用して参集することとなっています。